

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)

【公開番号】特開 2018-196517 (P2018-196517A)
【公開日】平成 30 年 12 月 13 日 (2018.12.13)
【年通号数】公開・登録公報 2018-048
【出願番号】特願 2017-102005 (P2017-102005)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 B

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 21 日 (2020.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤の後側の表示手段装着部に画像表示手段を着脱可能に備え、
前記画像表示手段に表示される画像に所定変形処理を行う特定演出を実行する演出実行手段を備えた

遊技機において、

前記表示手段装着部に対する前記画像表示手段の誤装着を防止する誤装着防止手段を備えた

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記誤装着防止手段は前記画像表示手段側に設けられた第 1 部材と、前記表示手段装着部側に設けられ且つ誤装着時に前記第 1 部材と干渉する第 2 部材とを備えた

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記第 1 部材は前記画像表示手段に他の部品を取り付けるための取り付け具の一部である

ことを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記画像表示手段は、数字部とキャラクタ部とで構成される第 1 演出図柄と、該第 1 演出図柄よりも小さく数字部で構成される第 2 演出図柄とを表示可能であり、

前記第 1 演出図柄に対して前記所定変形処理を行うが、前記第 2 演出図柄に対しては前記所定変形処理を行わない

ことを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れかに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来のパチンコ機は、遊技盤の遊技領域の略中央に前側から着脱自在にセンターケース

を装着し、このセンターケース内の表示窓に対応して、遊技盤の裏側に液晶表示手段等の画像表示手段、可動演出手段を配置して、その画像表示手段により各種演出画像、報知画像等を表示し、また、演出画像、報知画像の表示に同期して可動演出手段が演出動作を行い、その両者の演出効果により遊技者の興趣の向上を図るようになっている（特許文献1参照）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明は、画像表示による演出を行う画像表示手段に関し、より好適な構成を有する遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、遊技盤の後側の表示手段装着部に画像表示手段を着脱可能に備え、前記画像表示手段に表示される画像に所定変形処理を行う特定演出を実行する演出実行手段を備えた遊技機において、前記表示手段装着部に対する前記画像表示手段の誤装着を防止する誤装着防止手段を備えたものである。

前記誤装着防止手段は前記画像表示手段側に設けられた第1部材と、前記表示手段装着部側に設けられ且つ誤装着時に前記第1部材と干渉する第2部材とを備えたものでもよい。前記第1部材は前記画像表示手段に他の部品を取り付けるための取り付け具の一部であってもよい。

前記画像表示手段は、数字部とキャラクタ部とで構成される第1演出図柄と、該第1演出図柄よりも小さく数字部で構成される第2演出図柄とを表示可能であり、前記第1演出図柄に対して前記所定変形処理を行うが、前記第2演出図柄に対しては前記所定変形処理を行わないようにしてもよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、画像表示による演出を行う画像表示手段に関し、より好適な構成を実現可能である。